研究機関：広島大学

研究課題名	顎変形症患者の外科的矯正治療前後における最大舌圧に関する pilot study
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科分子口腔医学・顎顔面外科学　准教授　虎谷　茂昭
研究期間	2021 年 6 月 14 日(倫理委員会承認後）～　2022 年 12 月 31 日

対象者

2011年7月1日　～　2013年6月30日に当院、顎口腔外科にて下顎後退術を行った患者さん。

意義・目的

舌は摂食、嚥下、構音など多機能に関わる重要な器官であり、特に種々の口腔外科疾患や手術により大きな影響を受けることが経験されます。しかし、歯科・口腔外科外来やベッドサイドで簡便に利用可能な舌機能の客観的定量評価は、まだ確立していません。本研究では、顎変形症患者さんの手術前後における最大舌圧の変化を評価するため，この研究を計画しました。

方法

本研究は，診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は BMI、オーバージェット、オーバーバイト、下顎骨の移動量、舌圧、セファロ分析項目です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

なし

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科分子口腔医学・顎顔面外科学　准教授　虎谷　茂昭

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心くださ